

有沢 義一

薬剤師

1. 六神丸

(1) 六神丸とは

六神丸のその名の起こりは、天神の神、東西南北の神である六神を意味するものと言われていています。中国での六神丸のルーツについては、清の時代（薬 300 年前）に処方された雷仕方という漢方薬がはじまりとされています。

現在の「六神丸」は、この処方をもとに貴重な動物性生薬などを配合して作られた、富山を代表的する家庭薬です。「疲れやすい」、「少しの運動で動悸（どうき）や息切れがする」、「よくめまいや立ちくらみがおこる」などの症状は、心臓からのサインです。六神丸は、このような症状の和漢強心剤として適しています。また、強心剤としてではなく、身体全体に作用する和漢薬として、各器官のはたらきを総合的に高める効果があります。

(2) 心臓への作用

「強心作用」

心臓は血液を全身に送り込むため、心筋収縮を繰り返すポンプの役割をリズムカルに果しています。この心筋を収縮する力を高めることを強心作用といいます。センソには強力な強心作用があり、その作用をジャコウ、ゴオウが協力して制御してします。

「動悸安定化作用」

心臓が一定のリズムで収縮する速度が上がることを動悸といいます。

センソには強い脈拍をあげる作用があり、ジャコウが抑制し、持続性を維持します。六神丸の安定化を保つことができます。

(3) 六神丸の成分とはたらき

「センソ」品ヒキガエルの耳下腺分泌物で、強心作用があります。

「ジャコウ」ヒマラヤ山系に生息するオスのジャコウ鹿の性腺分泌物を乾燥させたもので、呼吸興奮作用があります。

「ゴオウ」牛の胆のう又は輸胆管内に生じた結石で、血圧調整作用があります。

「ユウタン」熊の胆のうを乾燥させたもので、健胃・利胆作用があります。

「ニンジン」オタネニンジンの根を乾燥させたもので、強壯作用があります。

「ジンコウ」伽羅（キャラ）ともいう香木で、鎮静作用があります。

(4) 有効成分（配置家庭薬）1日量（4粒）中

ジャコウ………0.6mg

日局ゴオウ………0.4mg

日局センソ………4mg

日局ユウタン………0.4mg

日局ニンジン………4.4mg

日局カンゾウ………1.6mg

オウレンエキス………0.6mg

ジンコウ………4mg

添加物としてサリチル酸、寒梅湖、薬用炭を含有する。

(5) 効能

動悸、息切れ、着付け

(6) 虔修（ケンシュウ）六神丸（明治35年9月4日許可）

(7) 六神丸の適応性

心臓の弁、弁膜に以上のある人

心筋梗塞、弁膜肥大のある人

脈拍の異常をきたすことのある人

長く高血圧を患っている人

心臓ぜん息の人

寝入りばなに席が出て息苦しく感ずる人

貧血の人

身体の下部が腫れる人

更年期の人

人ごみに弱い人

暑さに弱い人

肥満体の人

過労気味の人や菜食を好まない酸性体質の人

糖尿病で酸性血液の人

朝の寝起きの悪い人

2. 熊胆円（膽圓）

(1) 熊胆円とは

熊胆円は、江戸時代の中頃から越中の「黒い練りくすり」として創製されたのが始まりとされています。昔はもっぱら「熊の胆（くまのい）」と呼ばれ、熊の胆のうを原料に、腹痛の良薬として繁用されていましたが、現在の熊胆円は熊の胆のうの入手が困難なため、動物胆（主として牛、豚の胆汁）を使用し、アカメガシワ、オウバク、ダイオウなどの健胃生薬を配合し、練り合わせ、昔ながらの方法で板状にした和漢生薬製剤です。

(2) 効能・効果

食欲不振(食欲減退)、胃部・腹部膨満感、消化不良、胃弱、食べすぎ(過食)、飲みすぎ(過飲)、胸やけ、もたれ（胃もたれ）、胸つかえ、はきけ（むかつき、胃のむかつき、二日酔い・悪酔いのむかつき、嘔気、悪心）、嘔吐、整腸（便通を整える）、軟便、便秘

(3) 熊胆円の成分とはたらき

- ・ オウレン、オウバク、センブリ、ゲンチアナ等苦味健胃生薬の配合により、胃の運動を盛んにして、胃液の分泌を促進しますので、食欲不振や、消化不良に効果があります。
- ・ 腸の機能を正常にもどす作用を有するアカメガシワと腸の蠕動（せんどう）を促すアロエの配合により便秘にも優れた効果があります。
- ・ 健胃生薬のウコンには、脂肪分を消化するのに必要な胆汁の分泌を促進する作用があるので、動物胆と共に脂肪分の消化作用を助けます。
- ・ 常習便秘に用いられるダイオウは胆汁の分泌を良くします。腸内の抗菌作用もあります。
- ・ チクセツニンジンには、健胃作用のほか胃部の熱感や痰を取り除く作用があります。

4 有効成分（置き薬） 1量中（3個）中

- ・ オウレンエキス……………28mg（オウレン 70mg に相当）
- ・ オウバクエキス……………
- ・ センブリエキス……………
- ・ ダイオウエキス……………
- ・ ゲンチアナエキス……………
- ・ ウコンエキス……………
- ・ アカメガシワエキス……………
- ・ アロエ……………
- ・ 動物胆……………

添加物として、デキストリン、タルクを含有する。

赤玉はら薬

1 日常、起こりがちな下痢止め、食あたりには、正露丸系と二分する「赤玉はら薬」があります。この「赤玉はら薬」は、その歴史は古く、江戸時代の書記にまでさかのぼる「如神丸」で、当時は辰砂（天然の赤色硫化水銀）によって赤くコーティングがされ、通称「赤玉」と呼ばれていました。その後、この家庭薬常備薬の「赤玉」は書状内容を変え、赤色の辰砂は除かれましたが、昔から赤には魔除け、病魔を追い払い病人に生命力をもたらす力があると考えられ、「赤玉はら薬」は貴重な薬を総称する意味で呼ばれています。

2 赤玉はら薬は、日本で生まれた、日本人の体にマッチした、体に優しい効果的な薬です。はらの痛みを抑えたり、下痢を治すだけでなく、胃や腸をもとから正常な状態に戻す効果もあります。そのほかの現代人に多いストレスや緊張からくる腹痛・下痢・過敏性腸症候にも、それぞれの生薬が有効にはたらく和漢生薬製剤です。

3 オウレン、オウバクには下痢を起こす禁を殺す作用があります。

ゲンノショウ、コヨウバイヒは収れん作用によって下痢を止めます。

オウバクにはその粘液質が胃腸の病変部分を覆って保護する作用があります。

ロートエキスは自律神経に働いてけいれん性の痛みを止めます。

動物胆は消化促進作用があります。

4 効能・効果

下痢、消化不良による下痢、食あたり、吐き下し、水あたり、くだり腹、軟便、腹痛を伴う下痢

5 有効成分（置き薬）一日量 60 丸中

日局ゲンノショウコ

日局オウレン

日局オウバク

ヨウバイヒ

日局センブリ

日局ロートエキス

動物胆

添加物として、炭酸 Ca、サリチル酸、寒梅粉、タルク、酸化チタン、アラビアゴム、赤色 3 号、黄色 5 号を含有する。